

# Mémoires 2022

## 第23回 チャンピオンズカップ(GI)



### 砂の舞台で素質開花 ジュンライトボルト

ダート転向からの快進撃、馬も騎手も嬉しいG I 初制覇となった。

中心は前年にこのレースを6馬身差で圧勝したテーオーケインズ。前走のJBCクラシックも完勝しており、単勝1.5倍と断然の1番人気に支持された。2番人気はライアン・ムーア騎手を鞍上に迎えたグロリアムンティ。前走の宝塚記念は12着だったが、ダート戦では5戦4勝とほぼ底を見せていない魅力が推された形となった。

レースは比較的、緩やかな流れで進んだ。直線、UAEダービーを制した3歳馬クラウンプライドが2番手から先頭に立つ。追いつがるのは同じ3歳のハビとテーオーケインズ。しかしその直後から1頭だけ次元の違う末脚で抜け出したのが、3番人気のジュンライトボルトだった。

道中は中団。直線では馬群に囲まれたが、残り250mあたりで進路が開くと鋭く加速。次々と他馬を抜き去り、最後は粘るクラウンプライドをとらえた。

デビューから芝を走ってきたが、オープン入り後は3連敗と伸び悩んでいたジュンライトボルト。しかし夏、ダートに転向するやジュライS2着、BSN賞優勝、そしてシリウスSで重賞初制覇。勢いそのまま3連勝でG I馬に上り詰めた。

ダート転向からコンビを組む石川裕紀人騎手は、自身もこれがデビュー9年目でのG I 初制覇。インタビューではサッカーワールドカップ日本代表の長友佑都選手に倣って「ブラボー!」と叫び、「物心ついた時から騎手を目指していて、小さい頃から憧れていた夢のような景色でした」と語った。

また日本ダービー3勝など数々のタイトルを誇る友道康夫厩舎は、意外なことにこれがダートG I 初制覇。人も馬も初めての勝利に喜んだ、そんな一戦となったチャンピオンズCだった。

#### 第23回チャンピオンズカップ(GI)

12/4 中京競馬場 1800m(ダート・左)晴・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ジュンライトボルト	牡	5	57	石川裕紀人	友道 康夫	1:51.9	③	⑨⑨⑧⑩
2	クラウンプライド	牡	3	56	福永 祐一	新谷 功一	クビ	④	②②②②
3	ハビ	牡	3	56	横山 典弘	大久保龍志	1 1/4	⑥	③③④④
4	テーオーケインズ	牡	5	57	松山 弘平	高柳 大輔	クビ	①	⑥⑥④④
5	シャマル	牡	4	57	川田 将雅	松下 武士	1 1/2	⑦	③③③②
6	サンライズホープ	牡	5	57	幸 英明	羽月 友彦	3/4	⑩	⑩⑩⑩⑩
7	スマッシングハーツ	牡	6	57	鮫島 克駿	新谷 功一	クビ	⑩	⑥⑥⑧⑧
8	ノットゥルノ	牡	3	56	武 豊	音無 秀孝	アタマ	⑥	⑥⑥⑦⑦
9	オーヴェルニュ	牡	6	57	C.ルメール	西村 真幸	ハナ	⑨	⑤⑤④④
10	タガノビューティー	牡	5	57	石橋 脩	西園 正都	クビ	⑫	⑭⑭⑫⑬
11	レッドガラン	牡	7	57	斎藤 新	安田 隆行	1 1/2	⑬	⑪⑪⑩⑩
12	グロリアムンティ	牡	4	57	R.ムーア	大久保龍志	1/2	②	⑪⑩⑫⑬
13	サクラアリュール	牡	7	57	酒井 学	村山 明	1	⑯	⑭⑭⑮⑮
14	パーテンヴァイラー	牡	4	57	D.レーン	斉藤 崇史	1/2	⑧	⑩⑩⑧⑩
15	サンライズノヴァ	牡	8	57	松若 風馬	音無 秀孝	1/2	⑭	⑬⑬⑬⑬
16	レッドソルタード	騾	4	57	丸山 元氣	奥村 豊	7	⑮	⑪⑪⑪⑪

単勝 ⑤790円 複勝 ⑤260円 ⑩360円 ③400円 枠連(3-5) 2,180円  
馬連 ⑤-⑩4,850円 馬単 ⑤-⑩10,130円 ワイド ⑤-⑩1,330円 ③-⑤1,290円 ③-⑩1,920円  
3連複 ③-⑤-⑩14,020円 3連単 ⑤-⑩-③81,360円

ハロンタイム 12.7-11.2-13.1-12.8-12.6-12.6-12.7-11.9-12.3  
通過タイム 600m⑤37.0-800m⑤49.8-1000m⑤1:02.4-1200m⑤1:15.0-1400m⑤1:27.7-1600m⑤1:39.6



#### 優勝馬:ジュンライトボルト

2017.4.27生 牡 鹿毛  
父:キングカメハメハ  
母:スペシャルグルーヴ  
母の父:スペシャルウィーク  
生産:安平・ノーザンファーム  
馬主:河合純二氏